

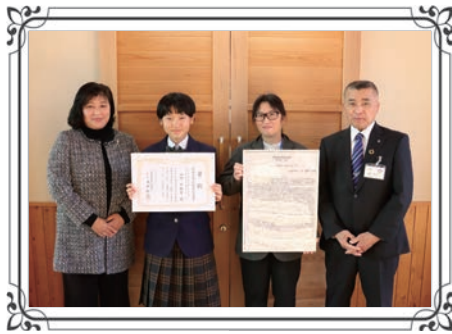
## 防災・減災への意識向上を図る絵画や作文を表彰

作品の制作を通して土砂災害防止についての理解や関心を深めることを目的に、次世代を担う小・中学生を対象として開催された「土砂災害防止に関する絵画・作文」の表彰状授与式が行われました。

12月8日(木)に篠山中学校で行われた授与式では、清水雅文<sup>まさふみ</sup>愛媛県砂防協会副会長から山崎史帆里<sup>しほり</sup>さんへ表彰状が手渡されました。

地震によりライフラインが絶たれたことを想定した炊き出し訓練で、家族や地域の人々と協力し合った喜びや苦勞、防災学習を通しての学びや成長がつづられた作文には、「協力することが災害に備える第一歩」という気付きや地域のために働きたいという強い思いが読む人を作品に引き込むと、高い評価を受けました。

お互いを思いやり協力し合える篠南地域の素晴らしさをもっとたくさんの人に知ってもらいたいです。



### 【愛媛県砂防協会会長賞】

篠山中学校 1年  
山崎 史帆里さん



愛媛  
CATV  
動画

### 【愛媛県砂防ボランティア協会会長賞】

久良小学校 5年  
幸田 雪那さん



防災頭巾や服、人物の髪の毛の細かなところまで丁寧に塗ることができました。また、急いで避難する様子を描くことができました。



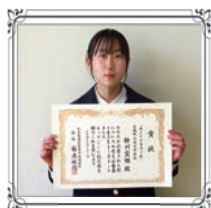
愛媛  
CATV  
動画

12月14日(水)には久良小学校でも授与式が行われ、山田康春<sup>やすはる</sup>愛媛県砂防ボランティア協会会長から幸田雪那<sup>ゆきな</sup>さんへ表彰状が手渡されました。

作品には、自分たちの住む地区に起こり得る災害や土砂災害危険区域のチェックなど、防災学習の中で学んだことを描き、『急いで・安全に』避難する様子が表現されています。さらに、『そっ先 ひなん者 たれ!!』の言葉が表すように自分の身に降り注ぐ災害と向き合い、まずは自分が率先して避難者になり周囲の人たちと共に命を守ろうという避難者の真剣な表情に高い評価を受けました。

## 租税意識の向上を目指して 税についての作文を表彰

令和4年度中学生の「税についての作文」の入賞者が表彰を受けました。町内からは、城辺中学校3年の粉川実姫<sup>みき</sup>さんが宇和島地区税務連絡協議会長賞を受賞するなど4人が入選しました。



■宇和島地区  
税務連絡協議会長賞  
城辺中学校 3年 粉川 実姫さん  
『私たちの生活と税』



■宇和島税務署管内  
青色申告会連合会会長賞  
御荘中学校 3年 井上 直央さん  
『社会と税』



■宇和島税務署管内  
納税貯蓄組合連合会会長賞  
一本松中学校 3年 保岡 優奈さん  
『税金から学んだこと』



■公益社団法人  
宇和島法人会会長賞  
篠山中学校 3年 岡原 未空さん  
『税金は何のために』

12/3 品質の向上を目指す  
令和4年度愛媛県総合畜産共進会で優等賞



▲若雌第2区で優等賞首席を受賞した「えいこ10」

『令和4年度愛媛県総合畜産共進会』で池田一成<sup>かずなり</sup>さんが出品した『愛都<sup>まなと</sup>157』が肉牛の部で優等賞3席、肉用種牛の部で『えいこ10』が優等賞首席を受賞しました。

県内から35頭の黒毛和牛が出品された肉牛の部で自身の記録更新となる優等賞3席を受賞した池田さん。「今回の好成績は、妻をはじめスタッフや池田牧場に関わる全ての方々と獲得した賞だと感じている」と振り返り、「消費者の皆さまに『笑顔』と『幸せ』を届けられるよう、日々真剣に牛と向き合い、命に向き合い精進していきたい」と今後の展望を力強く述べました。

12/17 安全に楽しむために  
サイクリングガイド養成講座を実施

休日に学校付近で遊んでいた柏小児童の3人は、小  
道沿いの畑で高齢



▲参加者全員での記念撮影

サイクリングガイド養成講座が実施され、町内や近隣市町から8人のサイクリストが参加しました。

長野県でサイクルアドバイザーとしてサイクリングガイドや自転車を使ったまちづくりに携わっている小口良平<sup>りょうへい</sup>さんを講師に、交通法やメンテナンスの手法、ガイドの心得などの講習を受けました。講習後は、集団走行のポイントや、交差点やトンネルでの走行の注意点などを実際に町内を走行しながら教わりました。

参加者からは、「講習で教わった内容を実際に走って確認することができたので、理解が深まった」、「安全に走行するポイントを意識しながら走行を楽しみたい」などの感想が述べられました。

12/23 畑で倒れる高齢女性を保護・救助  
柏小児童の勇気ある行動に感謝状贈呈



▲三好和敏愛南警察署長から感謝状が贈呈された

休日に学校付近で遊んでいた柏小児童の3人は、小  
道沿いの畑で高齢女性がうつ伏せで倒れているのを発見し、1人はその場で高齢女性に声をかけるなどして寄り添い、2人は現場から約200メートル離れた内海駐在所へ助けを求めに向きました。女子児童たちの的確な判断・勇気のある行動によって病院へ搬送された女性はその日のうちに退院し、元気に日常生活を送られています。

3人は今回の出来事を振り返り、「みんなで助け合うことができてよかった」「困っていたらどんな時でも助けようと思えた」「人を助けたらその人も自分もいい気持ちになる」と力強く話しました。

## 12/26 世界大会への意気込みを語る 島本こはくさんが町長を表敬訪問



愛媛  
CATV  
動画



▲世界大会へ向け清水雅文町長からエールが送られた

愛南町出身で現在は高知中央高校に通う島本こはくさんが清水雅文町長を表敬訪問しました。

今年度開催された『全国高等学校ダンスドリル選手権大会 HIPHOP男女混成部門』で準優勝に輝いた高知中央高校ダンス部は日本代表として3月末にアメリカで開催される世界大会へ出場します。

世界大会に向け、「表現力や技の精度を高めていきたい。ライバルたちに負けないような技も取り入れ、インパクトのある作品に仕上げたい」と意気込みを話した島本さん。清水町長からエールを受け、世界大会での活躍を宣言しました。

## 地域おこし協力隊 活動日記

### 磯釣り大会に密着！ 愛南町の魅力を発信

こんにちは、商工観光課地域おこし協力隊の関根麻里です。あっという間に時間が流れ、地域おこし協力隊3年目になりました。最後の年も地域の方たちと関わり、卒業後を見据えながら楽しく活動していきたいです。

さて、11月27日に『愛南町中泊磯釣りNO.1決定戦』が開催されました。大会の様子を釣り番組のレポーターとして初挑戦し、町内の魅力を発信しました。磯場に初めて連れて行ってもらい、波が打ち上げる岩場で釣りをするという過酷な環境に驚きましたが、参加者は身軽に岩場を移動しながらグレ釣りを楽しんでいました。

参加者は145人で遠くは大阪・岡山から集まり、釣りの聖地と言われている愛南町の人気を実感することもできました。番組内では釣り大会以外にも愛南町の観光や食、スナックも紹介してもらうことができ、全国の釣り客が愛南町に来てもらえるきっかけになると嬉しいです。

初レポーターは、緊張でセリフが棒読みになり、番組の担当者に苦笑いされながらも2日間の取材は無事終了し、自分の言葉で町の魅力を話す貴重な機会となりました。

YouTube配信もあるので  
ぜひご覧ください！



YouTube  
【釣りうえ〜ぶ】

